

♡ 連盟だより ぐんま No.42

平成30年1月31日発行

群馬県看護連盟 発行責任者 島崎すえ子
〒371-0007 前橋市上泉町 1858-7 TEL.027-264-1081/FAX.027-264-1082
E-mail:nkr-gunma@lily.ocn.ne.jp <https://nkr-gunma.jimdo.com/>

あけましておめでとうございます



目次

新年のご挨拶	2~3	都道府県別会議	8
自民党群馬県連「出前政調会」	4~5	看護管理者トップセミナー	8
第2回リーダー・中堅者研修	6	支部報告	9
JNA ビル・国会見学	6	お知らせ	10
意見交換会・ポリナビワークショップ	7		

新年のご挨拶



群馬県看護連盟会長
島崎すえ子

「組織力の強化と拡大を」

皆様お健やかに新春をお迎えのことと存じます。
旧年中は、群馬県看護連盟の活動にご支援・ご協力をいただき感謝いたします。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。
少子高齢化が進む中、看護職への期待と役割は年々高まっております。
看護の未来を明るくするためにも、「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに、私達看護職が一致団結して組織力を高め、活動し続けることが重要です。
昨年、第48回衆議院議員選挙では、あべ俊子議員（5期目）、木村やよい議員（2期目）が当選を果たし、看護連盟の力を社会に示すことが出来ました。
また、昨年6月に次期参議院議員選挙の候補予定者に石田まさひろ議員が選出され、「石田まさひろを応援する会」が発足し、活動の時期を「知る」「伝え広める」「応援する」の3期に分け、具体的な活動がスタートしております。

応援する会の目的は、看護が抱える様々な課題を政治的に解決し、看護政策を実現していくために、看護職を代表する石田まさひろ議員の政治活動を組織的に応援することです。

会員の皆様には、ぜひこの目的を理解していただき、「石田まさひろを応援する会」へ入会のご協力をお願いいたします。

石田まさひろ議員は3つの誓いとして**1. 職場環境の改善 2. 看護職の自立 3. 社会的評価の底上げ**を掲げ、全国の医療福祉の現場を訪問し、看護職の皆様の声を国政に届けております。

これからの看護の発展のために、石田まさひろ議員に国政の場でしっかり活躍していただくためにも、看護連盟の組織力拡大を目指して参りましょう。



日本看護連盟会長
草間 朋子

「力強い看護連盟」を目指して

新春のお慶び申し上げます。
会員にみなさまは、それぞれの抱負を胸に、新たな年を迎えられたことと思ひます。

看護連盟は、今年も、看護現場が抱える課題を看護政策として確実に実現し、会員のみなさまが「看護連盟があつてよかった」と組織の存在を実感できる組織作り、活動を、みなさまとともに目指していきたいと思ひます。

昨年の看護連盟の重点目標は、「組織力を強化する」ことでした。去る10月に行われました衆議院選は、連盟にとつても大変厳しい選挙でしたが、あべ俊子先生、木村やよい先生を再び国政の場に送ることができ、看護連盟の底力を社会にアピールすることができましたことは看護連盟にとって大きな収穫であつたと感謝申し上げます。

今回再選を果たされたお二人の衆議院議員の先生と、参議院議員のたかがい恵美子、石田まさひろ先生の4人の国会議員の先生の協力を得ながら、私たち看護職の手、力でしっかり看護政策を実現してまいりましょう。

看護連盟の活動の成果は、会員のみなさま一人ひとりの努力の積み重ねの結果です。

今年も、くれぐれもよろしくお願ひします。



群馬県看護協会会長
小川 恵子

看護職の力で群馬をさらに元気に

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、穏やかで輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

会員の皆様には、日頃から当協会への温かなご支援・ご協力をいただき感謝いたします。お陰様で各種研修事業やナースセンター事業等を始めとして、平成29年度事業も順調に進捗しており、改めて感謝を申し上げます。

少子超高齢社会が進む中、看護職への期待と役割は、益々高まっております。県民の方々が住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できるよう、地域で生活まで支援する看護職が求められております。公益法人として地域包括ケアシステムの構築の推進のために関係機関、他職種との連携を図り、人材育成と確保に積極的に取り組みその期待に応え、その役割を果たして参りたいと考えております。そして、更なる強固な組織とするために「看護の力で群馬をさらに元気に」を合

言葉に会員の拡大に努めてまいります。

今年、戌年、実り多い躍進する良い年となりますように、ご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

衆議院議員 あべ 俊子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

群馬県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は全国の看護連盟の皆様のお力添えのおかげさまで、5期目の国政へ送り出していただくことができました。本当にありがとうございました。また改選後は、財務金融委員会（理事）、予算委員会、地方創生に関する特別委員会の委員を拝命するとともに、自民党副幹事長としてもその任に就かせていただいております。

これからますます本格的となる超高齢社会を支えるためには、看護職の皆様の大きな力が必要です。今年は診療報酬・介護報酬のダブル改定を控えており、現場にもさまざまななかたちでの影響が及ぶと思われまます。看護職の活躍の場も年々多様に広がっておりますので、それら現場の声をお聞かせいただき、看護職の皆さん一人一人が働きやすく、やりがいをもって看護できるようしっかりと国政で声をあげてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

衆議院議員 木村 弥生



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨秋の衆議院議員選挙では、温かいご支援を賜り、ありがとうございました。看護連盟の皆さまのお力添えあって、再び国会にて、代議士として活動させて

いただくこととなりました。皆様への感謝の念は尽きません。心より御礼申し上げます。

これからも「誰もがより健康で活躍できる社会」を目指し、看護の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たしてまいります。

今後は各地域での教育・医療・福祉の連携した体制の構築にも力を注ぎたいと思っております。現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映してまいります。

政治家として、光の当たらずともあたかな光を当てていく政治を忘れずに、女性の視点、母親の視点、看護の視点を生かし、応援していただいている皆様のご期待に添えるよう全力を尽くしてまいります。

本年もご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

参議院議員 たかがい 恵美子



群馬県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

さて昨秋の衆議院総選挙では、一致結束の大勝利を収め、新たな希望の広がりを共有することができました。看護職はのちの現場の守り手として、次代に相応しい社会保障制度体系づくりを牽引する大切な存在。その一人ひとりの真心に感謝し、看護職の誇りと気概を胸に、これからも果敢に挑戦を続けたいものです。

私こと、参議院では文教科学委員長に指名され、教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査にあたることとなり、また党政務調査会においても新たに文部科学部会副部会長を拝命しました。厚生労働部会についても引き続き、副部会長の任にあたります。働き方改革を始め幅広い厚生労働分野の諸課題と真摯に向き合い、これからも、その解決のため堅実に職責を果たして参ります。

皆々様の温かいお支えに改めて心から感謝を申し上げます。また皆様にとりまして健やかな笑顔あふれるよき年となりますことを、重ねてご祈念申し上げます。

参議院議員 石田 昌宏



群馬県看護連盟のみなさま、あけましておめでとうございます。平成30年が、すばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、日本看護連盟の総会において、組織内候補予定者としてご承認いただきました。看護を取り巻く課題改善のため、看護職の代表として精一杯力を尽くしてまいります。また、9月には、参議院において厚生労働委員会筆頭理事を拝命いたしました。厚生労働委員会は、運営が最も難しい委員会の一つと言われておりますが、そのような中、他の会派と調整を行う緊張感の高い役割も務めさせていただくことになりました。鋭意力を尽くしてまいります。

また、皆様からお寄せいただく「現場の声」は、国政で白熱した議論が飛び交う中、現場に根差した説得力のある発言をするには必要不可欠です。今年も群馬県をご訪問させていただきまますので、ぜひ、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

看護職のみなさまが「今日も良い看護ができた！」と実感できるよう、共に手を携え活動してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

自民党群馬県連「出前政調会」

平成30年度 群馬県当初予算に対する重点要望事項を提出

日時：9月15日（金）

場所：群馬県看護教育センター

参加者：群馬県議会議員12名・看護協会5名・看護連盟31名・県医務課2名・自民党県連2名



要望事項

1. 地域包括ケアシステム構築について
2. 看護職確保対策としての看護職の量及び質の確保について
3. 行政に働く保健師の充実強化について
4. 看護師等就業資金の確保について

平成29年8月
自由民主党群馬県支部連合会における
医療・福祉議員連盟に於いて看護部会が
発足されました。
県議会議員の皆さま、自民党県連事務局
の皆さまに感謝申し上げます。





群馬県看護連盟 副会長 外丸富美子

群馬県看護協会、看護連盟の共同で平成30年度群馬県当初予算に対する重点要望を自民党群馬県支部連合会に提出するにあたり、自民党県議と活発な意見交換が行われました。群馬県の看護、福祉の充実を図るには看護師の確保対策が重要となり、現状では生涯現役として70才近くの看護師が勤務している施設もあり、看護師免許取得していても看護業務をしていない人が1万人ほどいるといわれています。将来を見据えた看護師確保対策が必要であり、看護師が働き続けられる環境整備、ワークライフバランスの導入、保育園や学童保育の拡充、県内の看護学校、大学の学生が県内に就職して活躍してもらうためには修学支援制度の増額など検討していただく機会となりました。

公益社団法人群馬県看護協会 専務理事 荻原 京子

今年度の政調会は、県連の特別なお計らいにより看護教育センターで開催され、参加した看護連盟や看護協会の役員から多くの要望等が出され活発な意見交換となりました。

県議の方々に看護の仕事や連盟・協会の活動をご理解いただく好機となったほか、地域包括ケアの実現に向け、あらゆる場で看護の力を発揮していくには、役割を果たし働き続けられる環境づくりが必要であり、そのための予算要望をアピールできたと感じました。



群馬県大澤知事へ要望書を提出 平成29年9月19日(水)

第2回リーダー・中堅者研修

日時：9月30日（土）

場所：群馬県看護教育センター

参加者：130名

講師：参議院議員 たかがい恵美子 先生

群馬県立がんセンター 阿部 鋭子



高階先生の話は今私たちの抱えている問題についてはっきり提示していた。現場で私たちがどんなに人員の確保や給与アップに声を上げて、それだけではどうにもならない。地位や身分が保証されるためには、政治の力と法律が必要であるということを知りやすく説明していただいた。法律を立法しなければならない、そのためには私たちの代表が国会議員として私たちの声を代弁してもらう必要がある。連盟＝選挙と考えていたが、私たちの身分を保証してもらうために必要な情報を聞く場所として有意義であった。

群馬県済生会前橋病院 園部 哲也

今回の研修において、「看護と政治について意義を学び、リーダーの役割を理解し支部活動の活性化につなげる」のテーマをもとに講師の参議院議員、たかがい恵美子先生が講演をした。看護連盟とは何か？よく理解しておらず、今回の研修に参加することで看護と政治のつながりを改めて知ることができた。

講演の中で印象が強かった言葉として「ベッドサイドから政治を変える」といった言葉に関心を持った。実際の現場の声が上がることで、政策を打ち出し法案等に繋がり看護師の働きやすい環境を整えることができると感じた。今後も看護連盟の活動を支援できるよう意識して自分に何ができるのかを考え臨床に生かしていきたいと感じた。

JNAビル・国会見学

日時：10月12日（木）

参加者：41名



群馬県看護連盟 財政部長 市川美代子

今秋は天候が悪く、気温の低い日が続いていましたが、国会見学の10月12日は、天候に恵まれ、秋晴れとなりました。参加者は41名で、バスの中では連盟クイズで盛り上がり、和気あいあいと過ごしました。

JNAビルの看護連盟本部に立ち寄り、草間会長からお話をいただき、会長席に座らせていただく等、貴重な体験をしました。国会見学は、衆議院の突然の解散で、議員にはお会いできず残念でしたが、国会議事堂をゆったりと見学でき、議員食堂で美味しい昼食をいただき、得した気分でした。帰りは明治神宮でお参りもし、充実した楽しい1日となりました。（会員の皆様も是非一度、参加してみたいかがでしょうか。）

北関東循環器病院 小山 光美

全国の看護師の仕事環境の維持・発展のために看護師代表として国会議員の先生方をはじめ、各地で後援する連盟役員・協会役員の働きについて詳しく知ることができました。職場で挙がる問題は、個の問題ではなく多くの施設や看護師が抱えているものであり、その現場の声が国会で議論される政策や規律改定の機転となっていることを知ることができ、今後も一看護師として今できる事を見極めしっかり努めていきたいと思いました。

意見交換会・ポリナビワークショップ

日時：11月3日（金）～4日（土）

場所：伊香保温泉 天坊

参加者：71名

石田まさひろ議員に現場の声を届けよう



「石田まさひろ議員に現場の声を届けよう」 群馬県看護連盟 幹事 小林きみ江

11月3日 午後より伊香保にて、石田まさひろ議員との意見交換会とポリナビワークショップ in 群馬が開催されに参加させていただきました。

意見交換会のテーマは事前に各支部長を通して集めた働く看護職からの意見、要望についてでした。主なものは給料・夜勤手当のアップ、准看問題、人員増加希望、看護師免許のサイズ、国家試験回数、施設間の情報の一本化、看護必要度の授業科目への組み入れ等現場からはたくさんの意見が出されました。そしてそれぞれの問題、意見に対し細かく石田議員より、現状、改革への取り組み、議員の思い等が語られました。こんなにたくさんの思いがあるのに、いくら現場で叫んでも改善にはすぐには結びつきません。いろいろな職業団体が国政に代表を送り出しているように、看護職も複数の代表を国政に送り出しています。今回の意見交換会で「看護職の代表議員はわたしたちのすぐそばにいる」「自分たちのことだから声に出して伝えなくては」という思いが更に深まりました。この日も石田議員は午前中から活動し、翌日も朝4時出発という日程をこなしていました。



「ポリナビワークショップ in 群馬」 第一病院（学生） 岡田梨々華

11月3日～4日で行われたポリナビワークショップに初めて参加しました。ワークショップのテーマは「健康寿命について」で、私のグループでは、病気があっても笑顔で生活できるとよい。健康寿命を延ばすためには生きがいを見つけて、毎日を楽しく過ごす。という意見が出ました。他のグループでもそのような意見が多かったです。私個人としては、定期検診などにきちんと行き、異常が見つかったら早めに治療ができるようにしておく事が大事だと思いました。

今回、様々な年代の看護師の皆さんとお話ができ、色々な意見が聞けてとても勉強になりました。石田まさひろ議員のお話はとても参考になったので、教えていただいたことを今後職場で活かしていきたいと思えます。

学生のうちからこのような場に参加できたこと、とても嬉しかったです。また機会があれば参加したいです。

前橋赤十字病院 横山 萌・鎌田 有実

今回の研修で、普段じっくり考えることが少ない看護連盟という組織について考え、自分なりに理解することができました。また、グループワークで健康寿命について他の病院のさまざまな年代の方と話し合うことで自分の考えを振り返るとともに、自分と違った他者の意見も聞くことができました。グループワークでは、他の病院の方々とも話すことができ、交流を深めることができました。一泊二日の経験は貴重なものとなり、今後また機会があれば参加したいと思います。

都道府県別会議

日時：11月10日（金）

場所：群馬県看護教育センター

参加者：33名

前橋1区支部長 横手 千秋

連盟本部より尾形妙子常任幹事を招き県別会議を開催し、群馬県と全国レベルを比較して強み・弱みを明らかにし、修正していくことが重要であると実感した。協会・連盟会員比率38%と全国と比べて中間でしたが学生・賛助会員数は上位にあり、今後は会員の自立と18歳からの選挙権により学生に向けた働きかけがより一層必要である。また、協会とは風通しが良く、研修を協働で行える関係を構築していくことが重要と受け止めた。「石田まさひろを応援する会」では各支部が協働して地区ごとに企画し、知名度を高めていくことで一致した。

看護協会・連盟の合同研修

看護管理者トップセミナー

日時：11月18日（土）

場所：群馬県看護教育センター

参加者：117名

「変化する看護管理者の役割と課題」

講師：NPO 法人 看護職キャリアサポート

フリージア・ナースの会 会長 大島 敏子 先生

高崎第5区支部長 坂本由美子



「政治の力をたくさんもらって、看護職として働くことができること」の説得力があり、大島先生のパワーを感じさせていただいた研修でした。看護現場の問題解決の為、政治力を強化していくことで、私たち看護の現場を改善していくことができます。そのためにも、看護協会と看護連盟が一体となり、連盟会員を一人でも多く増やしていくことが大切である。大島先生の連盟ハンドブックの説明は分かり易く、私たち看護管理者は、現場の声を国政に届けられる看護職を育てていくためにも、もっと連盟会員増加に頑張っていかなければと思わせていただいた研修でした。



支部報告

堀江病院 田中 聡師

参議院議員石田まさひろ政策研修会 in 東毛

日時 平成 29 年 11 月 10 日 (金) 19:00 (受付 18:00)
会場 太田市学習文化センター
参加者 約 200 名
来賓: 笹川博義 衆議院議員
穂積昌信 県議会議員 他



石田まさひろ先生のご講演から、ワークライフバランス、働く世代の拡大、AI との共存、業務の効率化、認知症ケアへの取り組みなど将来を見据えた見聞と政策を拝聴させていただきました。これらを真摯に受け止め、看護師の品位を保持していくために努力していくことが必要だと感じました。2025 年問題とその先の将来に向けて準備していかなければならない私たちにとって、大変貴重なお時間をいただいたことに感謝いたします。



20 年後の看護現場をイメージして・・・
どうなっている・医療現場？
手放すべき業務・手放してはいけない業務・看護師に
しかできない業務・・・新たな仕事の創生
考えましょう・・・これからの働き方
取り組ましよう働き方改革
応援します石田まさひろ

沼田地区支部長 内山 恵



11月25日に北毛3地区合同研修会を開催し25名の参加があった。副会長が看護連盟についてお話をされた後、依田富江先生を講師にお迎えし『ラフターヨガ』を行った。先生はインドに赴きカタリヤ先生から直々に指導を受けたとのこと。『人は笑うことによって脳内セロトニンやエンドルフィンなどの幸せホルモンが伝達され、ストレス解消効果が得られる。人間の身体は、本当の笑い作り笑いの区別がつかず、どちらも同じ効果が得られるとのこと。』大いに笑い、身体を動かして免疫力アップが図れたひとときであった。

伊勢崎地区支部長 古郡三枝子

日時: 平成 29 年 12 月 2 日 (土) 13:30 ~
場所: 佐波医師会病院 5F 会議室
研修名: 2Way リース作り
参加人数: 40 名



完成した2Wayリース

平成 29 年 12 月 2 日に石原敦子先生をお招きして 2 Way リース作りを開催しました。

2 Way リースとはクリスマス・お正月と両方に使用できるリースです。多忙な業務に追われている日々、少しでも安らぐ内容にしよう今回の研修を開催しました。

和気あいあいと和んだ雰囲気で行われ、思い思いのリースが出来ました。看護連盟の現状・活動内容説明時も真剣な表情で聞いて頂き、連盟活動の重要性を理解したという感想もありました。



研修中の様子



お知らせ

平成29年度 参議院議員 石田まさひろ 研修会 (西毛地区)

日時：平成30年2月16日(金) 19時 開会
 会場：ニューサンピア高崎
 Tel：027-353-1107
 講師：参議院議員 石田まさひろ先生
 ※参加希望の方は群馬県看護連盟にご連絡下さい

日本看護連盟通常総会

平成30年6月5日(火)

群馬県看護連盟通常総会

日時：平成30年6月9日(土) 13時～16時
 場所：群馬県看護教育センター



平成30年度
看護連盟会員
募集中

あなたの入会があなたの問題を解決します

正会員：年会費	8,000円	本部5,000円 県会費3,000円
特別会員：年会費	8,000円	正会員の経験を有し未就業で看護協会員でない方
賛助会員：年会費	500円	看護連盟の主旨に賛同いただける方
学生会員：年会費	無料	看護連盟の主旨に賛同いただける看護学生

..... 申込用紙追加請求やお問合せは下記まで

TEL 027-264-1081 FAX 027-264-1082 E-mail:nkr-gunma@lily.ocn.ne.jp

入会はいつでもできます。お待ちしております。

おめでとうございます

(敬称略)

秋の叙勲

瑞宝双光章
 元伊勢崎市民病院副院長兼看護部長
 木暮 悦子

公益社団法人

日本看護協会70周年記念式典
 優良看護職員厚生労働大臣表彰
 公益社団法人群馬県看護協会会長
 小川 恵子

高崎健康福祉大学
 保健医療学部看護学科教授
 大澤幸枝



編集後記

明けましておめでとうございます。
 昨年はたくさんの研修会運営に参加いただきありがとうございました。
 看護連盟では皆様のご協力をいただき、より働きやすい環境や職場になるよう、現場から生の声を伺っています。
 「ペットサイドから政治を変える！」を実践できるよう、私たち看護職代表の国会議員に届けていきます。また一年半後は参議院選挙で、準備段階に入っています。会員の皆様、ご家族の皆様のご協力をよろしくお願ひします。
 広報委員会